

第2回ワークショップのふりかえり | 開催概要

日時：平成22年11月30日(火) 13:00~15:00  
場所：糠平温泉文化ホール 参加者：12名

1. 趣旨説明・情報共有

- 第1回ワークショップの結果ふりかえり、さらに意見をいただきたい点について
- ワークショップの進め方や注意事項について

2. グループでの話し合い・発表

- 次の各テーマにおいて、地域の利活用や保全と利用のバランス、資源の今後について意見交換

◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷の利活用について

- ・東大雪やぬかびら源泉郷を訪れる人に楽しんでもらうために地域で可能な取り組み(活動メニューの提供など)はどんなものが考えられるでしょうか?
- ・拠点となる施設やその周辺では、連携してどのような役割を果たしていくことが良いと思いますか?

◎十勝三股等の保全と利用について

- ・現在の十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか?

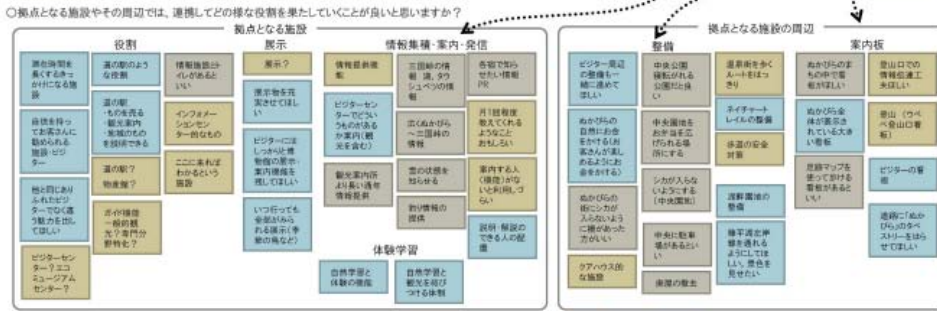
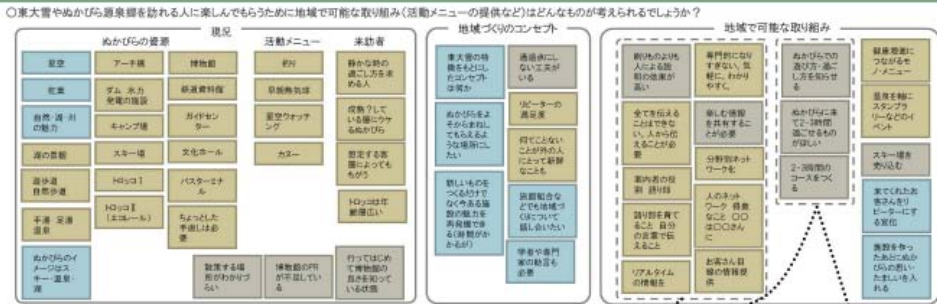
◎東大雪にある資源の今後について

- ・東大雪の魅力として今後も残しつつ利用していきたい活動は何でしょうか?

- それぞれグループの中で進行係、記録係、発表係を選出
- テーマに沿って意見などを付せんに書き込みながら、自由に意見交換を行い、模造紙に整理
- 各グループの発表係が、意見交換の内容や経過について報告



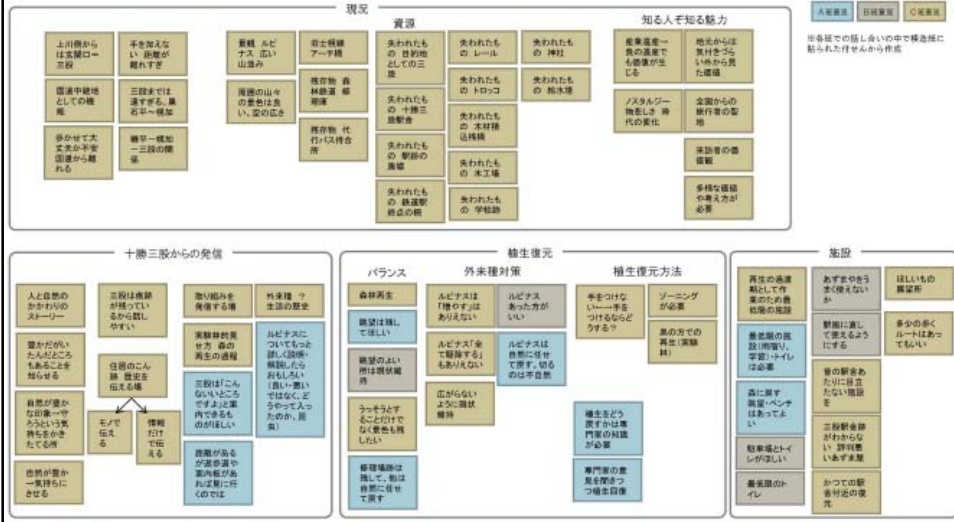
東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷の利活用について



※各組での話し合いの中で模造紙に記入された付せんから作成

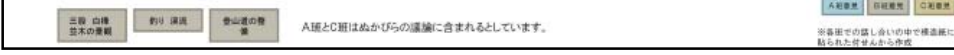
### 十勝三股等の保全と利用について

○現在の十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか？



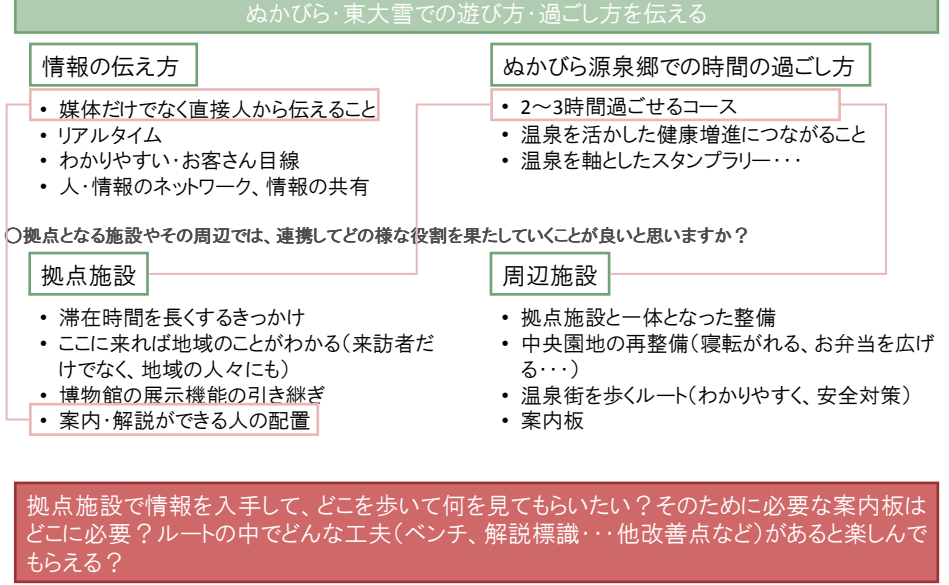
### 東大雪にある資源の今後について

○東大雪の魅力として今後も残しつつ利用していきたい活動は何でしょうか？



## 第2回ワークショップのふりかえり | 東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷の利活用について

○東大雪やぬかびら源泉郷を訪れる人に楽しんでもらうために地域で可能な取り組み(活動メニューの提供など)はどんなものが考えられるでしょうか？



## 第2回ワークショップのふりかえり | 十勝三股等の保全と利用について

○現在の十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか？

- 位置関係、ぬかびら源泉郷からの距離→積極的な利用は困難
- 失われてしまったものも含めた生活・産業の歴史・資源
- 知る人ぞ知る魅力(いろいろな価値観、気づいていないこと)

人と自然との関わりのストーリー(歴史)がある  
豊かな自然が「守ろう」という気持ちにさせる



復元の取り組みを発信する場

過程を実験林的に見せる etc.・・・

<特徴と植生復元とバランス>

眺望の良さは残したい

<外来種対策>

ルピナスの扱い  
駆除する ←→ 残す

<植生復元方法>

ゾーニング、専門家を交えた  
復元方法の検討

<施設>

作業や環境教育の  
ために最低限の施設

雨宿り・学習に使える施設、多少の歩くルート、展望所、ベンチ、トイレ、駐車場、  
旧駅舎付近の復元、東屋の活用、修理場跡

眺望や歴史を残しておきたい場所はどこ？植生復元や環境学習をするために、  
三股に施設は必要？必要であれば、どこにあったら良い？